

# 長野県移住モデル地区のご案内

## 「長野県移住モデル地区」とは

地域の方と自治体が一体となって、移住される方を積極的に受け入れる意欲のある地区のこと。自治体の担当者や地域にお住まいの方々と交流して、地区の雰囲気や住み心地などをぜひご確認ください。

長野県移住モデル地区は  
以下の要件を満たした地区に  
長野県が認定を行っています。

- ✓ 移住者の溶け込み支援を官民一体となって積極的に行っていること
- ✓ 積極的に移住者との交流を図る意欲があること
- ✓ 相談やアドバイスのできる人材がいること

等

モデル地区の  
詳細はこちら



地域と自治体が協力し、移住への理解が高いことから、  
安心して移住先候補としてご検討いただけます。



(2023年10月現在)



長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ





# 長野県移住モデル地区



## A 松本市安曇地区大野川区



ココも  
ポイント!

「のりくら高原ミライズ構想協議会」をはじめ、地元住民を中心に移住者の受け入れ支援を積極的に実施しています

### 標高1,200m超えの、雄大な自然と共にあゆむ暮らし

松本市安曇地区西部に位置し、乗鞍岳の麓、標高1,200～1,600mの中部山岳国立公園に属する「のりくら高原」にある地区。市街地から1時間程で、3,000m超えの乗鞍岳や代表される3つの滝、源泉の異なる温泉など、圧倒的な自然に出会えます。2021年にゼロカーボンパークに認定され、自然エネルギー利用や地産地消など、先人たちから継がれてきた自然と共にある暮らしが営まれています。

## C 諏訪郡原村



ココも  
ポイント!

住民による  
「原村田舎暮らし案内人」が、移住検討の段階から積極的な支援を実施しています



### 「日本で最も美しい村」にも加盟する景観が素敵な場所

八ヶ岳の裾野、諏訪湖との間に広がる高原（標高900m～1,300m）に位置し、一年を通じて降水量は少なく湿度も低いため、気候は爽やか。夏は避暑地として都会からの人々で賑わい、四季折々に表情を変える八ヶ岳の姿は常に心を和ませてくれます。冬の寒さは厳しいですが、雪の量はさほど多くありません。交通アクセスに恵まれており、移住はもちろん、二地域居住にも適しています。

## E 下伊那郡阿智村清内路地区



ココも  
ポイント!

「清内路空き家の会」や「子どもを増やそう育てようプロジェクト委員会」等が、さまざまな取組を実施しています

### 特色ある制度や伝統文化が充実した地域

長野県の南部に位置し県内では比較的温暖な地域。人口は500人ほどですが、近年若い世代のUターン者が多く、高校卒業までの子供の医療費無料化など制度が充実し、子育て移住がしやすい地域です。全国で唯一、住民が火薬から製造する「手づくり花火」は300年近い歴史があるほか、ハート型の「清内路かぼちゃ」や「赤根大根」といった5品目の伝統野菜があるなど、伝統文化が脈々と伝承される地域です。

## B 上伊那郡辰野町川島地区



ココも  
ポイント!

「人口減少対策委員会」が、移住者が地域に馴染めるような積極的な取組を実施しています

### 市街地から約10分。ほどよい田舎感が魅力

伊那谷の北に位置し、経ヶ岳を水源とする横川川上流に広がる大自然が魅力の地区。幅広で東西に開けた地形により、太陽が一日中里山の緑を照らす光に溢れた地域です。標高900m程の位置に集落が点在し、夏は涼しく非常に過ごしやすいです。寒暖の差が大きい気候を生かし、蕎麦や米の栽培が盛んなほか、秋の紅葉も美しいことから「秋の紅葉まつり」といったイベントなども活発に行われています。

## D 伊那市新山地区



ココも  
ポイント!

保育園・小学校・地区  
住民が参加の新山大運動  
会を実施しています

### 「新山全部が校庭だ！」と全戸PTAで地区を整備しています

新山地区は伊那市域のほぼ中央に位置する三方を山に囲まれた里山です。標高約600m～1400mの全域を児童の活動の場として活用してもらおうと、全戸がPTAに加入して環境維持に取り組んでいます。学校は市役所から車で15分程のところにありながら、地区内には希少生物の保護環境として、「トンボの楽園」や「三界山登山道」等があり、四季折々の自然を満喫できるよう、地域住民が自然との親しみ方を児童にレクチャーしています。

## F 飯田市南信濃地区



ココも  
ポイント!

「南信濃1500委員会」  
が中心となり、移住検討段階から積極的な支援を実施しています

### 伝統文化が息づく南アルプス最南部の秘境

800年続く遠山の霜月祭をはじめ伝統芸能や文化が色濃く残る里。龍淵寺というお寺の鐘の音が聞こえる範囲（徒歩圏内）に、暮らしに必要な施設や病院、お店などがコンパクトにまとまっているウォーキングサイズの地区です。南信濃地区は静岡県境にあり、現在工事中の三遠南信自動車道青崩峠道路の開通により、静岡県浜松市方面とのアクセスが向上。海や都市部へさらなる交流が期待されています。